

情報モラル教育を

「道徳の時間」に!

広教ニュースレター

Vol.4

広教 2009.9

<http://www.hirokyou.co.jp>

これから 情報モラル教育



岡山市立藤田中学校
平松 茂 校長

新学習指導要領では、道徳の時間等で情報モラル教育を行うことが明記されています。しかし既に移行期間が始まっているにもかかわらず、情報モラルをどう教えられるのかといった悩みも聞こえてきます。

そこで今回は、情報教育と道徳教育の両方に詳しい、岡山市立藤田中学校の平松茂校長に話をうかがいました。平松先生は二〇年以上前から情報教育に取り組むとともに、平成一九・二〇年度は藤田中学校で文部科学省の道徳教育研究指定を受け、道徳教育の研究も進められました。

大事なものは思考力・判断力、ひいてはその根底にある「心」なのです。これらの情報モラル教育に求められるのは、「心」の教育なのです。新しい情報化社会を生き抜く「心」を育む教育です。

思考力・判断力を鍛える 情報モラル教育を!

「ネットでこういう書き込みをしてはいけない」「ネットにはこんな危険が潜んでいる」こういった知識を教えることが、情報モラル教育だと思っている先生は多いのではないだろうか。

情報モラル教育の土台は、情報と安全に付き合うための知識の部分です。しかし、この指導だけが情報モラル教育と考えるのは誤解です。「情報モラル教育」知識の伝達教育ではありません。

現在行われている情報モラル教育の多くは、インターネットやケータイの使用場面ごとに、安全に付き合うための知識を指導する傾向にあります。これだけでは十分とは言えないのです。

情報化社会では次から次へと新しい問題が起きます。知識の伝達教育では、問題の「後追い」になってしまいます。子どもたちは教わっていない問題には対処できないでしょうし、指導する先生にも大きな負担になります。

誤解して欲しくないのですが、知識を教える必要がないと言っているわけではありません。インターネットで子どもたちが直面している問題は、「知識がないために起きている問題」と「思考力・判断力が欠けているために起きている問題」の二種類に分けられます。

子どもたちに知識を教えることは大切なことです。定期的、継続的に行う必要があると思います。その上で心を鍛えるのです。

知識を持っていても誘惑に負けてしまふ、知識や技術を悪用するなどの問題は、心が十分育っていないために起きているのです。

子どもたちが被害者に、また、加害者にならないよう、人間としての在り方、生き方について考えさせ、子どもたちの思考力や判断力を鍛える心の教育が、情報モラル教育に求められているのです。



思考力・判断力を育てる

情報モラル教育を!



新学習指導要領で、情報モラル教育を道徳の時間で指導するよう明記されたのは、情報モラル教育も心の教育と捉えられたからだと思います。

情報モラル教育を道徳の授業で行い、心を育てるには、インターネットやケータイ等の問題を取り上げつつ、子どもたちが登場人物に自分を投影でき、心の奥底から揺さぶられるような読み物と授業作りが不可欠です。

行動の善悪を教え込むのではなく、行動のもとになった気持ちを考えさせ、多様な意見を引き出し、話し合いを進めることで、高い価値に気付かせる、そんな授業が求められているのです。

心が育ち、思考力・判断力が育つておれば、子どもたちは新しい問題に直面したときでも、適切な行動が出来るでしょう。それは、ネット上の社会でももちろん、実社会でも必ず役立つはずです。

(取材 長井寛)

情報モラル教育を 「道徳の時間」に!

「Netモラルで授業」

教育委員会としての取り組みを取材しました!

愛知県教育委員会

<http://www2.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=2340008>

教委

を訪ねて。



愛知県教育委員会は、情報モラルの向上を目指して今年6月に情報モラル専用サイト「i-モラル」を立ち上げました。県内に約1000校ある公立小・中学校の全てが情報モラル教育の実践レポートをインターネット上に公開する画期的な取り組みです。今、この「i-モラル」は全国初の試みとして多くの注目を集めています。学校と家庭が情報モラル向上において、ともに取り組む「i-モラル」の運用や効果について、愛知県教育委員会義務教育課 玉置崇主査、小澤厚義指導主事のお二人にお話を伺いました。

「i-モラル」設立の背景とねらい

「i-モラル」は、ケータイやインターネットで子どもたちがトラブルや犯罪に巻き込まれる事件が多数発生していること、新学習指導要領において、情報モラル教育の推進が明記されていることから、情報モラル教育に関する情報を共有し、教師や保護者が学び合い、高めあえる場所として設立された。また、学校での実践を高めるだけでなく、保護者や地域の方に向けた情報を発信することにより、「情報モラル向上」への意識が高まることを目指している。

「i-モラル」とは

愛知1000校の取り組み

県内の全小中学校（名古屋市を除く）から寄せられた、情報モラル教育の実践レポートを公開。

「事例で学ぶ Netモラル」を使った実践事例も多数掲載されている。



＜豊田・梅園小の実践＞



県教委の取り組み

携帯電話に関する実態調査の結果レポートや解説、情報モラル教育に関する会議や研究会などの報告などを掲載。

お役立ち情報

情報モラル教育の基礎・基本、実態調査結果、情報モラルに関わる事件、セミナー案内、学習指導要領等の資料など役立つ情報を掲載。

研究校報告

情報モラル教育研究指定校（小学校2校、中学校3校）の実践レポートを掲載。授業だけでなく、ホームルームや校内研修など、様々な実践の様子を掲載。



- 毎日更新
- 実践レポートは既に100件突破!

- 1カ月あまりで約4万アクセス!
- 新聞各紙やNHKも取材に!

手軽に投稿・アップできる工夫

実践レポートが「i-モラル」で公開されるまでの順は以下の通り。各校が負担なく取り組み、更新作業を行う義務教育課でも記事が簡単に更新できるように工夫されている。

- ①各校の担当者が300字程度のレポートにまとめる
- ②義務教育課へ写真とレポートをメールで送信
- ③義務教育課でテンプレートを選び、写真とテキストを貼り付けて公開



愛知県教育委員会
義務教育課主査
玉置 崇 先生

- 情報モラル教育は新しい分野なので、教科書もないし、教師もノウハウや経験を持っていない。だからこそ、このサイトでノウハウや教材情報を共有し、実践を進めて欲しい。
- 保護者に見てもらえるサイト、保護者が学んで家庭の教育力を高められるサイトになればと願っている。

見てもらうための様々な仕掛け

- ・毎日更新で、新鮮な情報を提供する。
- ・各校のホームページにバナーとリンクを張り、教師も保護者も気軽にアクセスできる環境を整える。
- ・「今月の保護者の皆様へのお勧めリンク」を、トップページの冒頭に記載している。
- ・「お役立ち情報」に、親子向けセミナーの案内や子どもの実態調査報告の紹介などを掲載し、保護者の意識を高める。



愛知県教育委員会
義務教育課指導主事
小澤 厚義 先生

- 学校と家庭が協力して情報モラル教育を進められる場を提供するのが私たちの仕事。日常的に繰り返し指導してこそ、情報モラルは高まり、心は成長していく。その助けになれば。
- 「i-モラル」のおかげで、人生が変わった!と評価されるようなサイトになるよう努力したい。

広教ニュースレター は、情報モラルや情報教育に関するニュースや授業実践、また最前線で活躍されている先生方の寄稿や対談などを掲載するニュースレターです。

広島県教科用図書販売株式会社
〒733-0032 広島県広島市西区東観音町15番12号
TEL 082-291-1088 FAX 082-291-1082
URL <http://www.hirokyou.co.jp> E-mail info-hiroshima@hirokyou.co.jp

広教
HIROKYO 広島県教科用図書販売株式会社